

鞆の浦を歩く

えと歩き鯛

仙酔島

国民宿舎 ● キャンプ場

いつでも懐かしさが感じられる  
鞆の浦をゆっくり歩こう。

国の重要文化財を多数所有する。  
子授け・子育てにご利益あり!?  
備後安国寺

鎌倉時代(1270年代)に金宝寺として創建され、後の南北朝時代に足利尊氏が安国寺と改称した。

鞆の浦歴史民俗資料館

鞆城跡に建ち、朝鮮通信使や幕末の歴史資料、祭りなどの民俗資料を展示している。

豊臣秀吉愛用の能舞台を所有  
沼名前神社

古くから「鞆の祇園さん」とも呼ばれ親しまれている神社。豊臣秀吉愛用の能舞台は、国の重要文化財。2月には「お弓神事」、7月には「お手火まつり」が行われる。



FUKUYAMA

軒先の「杉玉」が作り酒屋の目印  
太田家住宅

江戸時代初期から保命酒の醸造を始め、藩から一手に醸造販売権を与えられた「旧保命酒屋」の建物。

● 平賀源内生祠



FUKUYAMA

常夜燈

江戸時代の灯台で、北前船が往来する時代から鞆港のシンボリック的存在。CMや映画にも登場している。

大伴旅人の嘆きの心情を刻む  
むろの木歌碑

「吾妹子が見し鞆の浦のむろの木は常世にあれど見し人ぞなき」と刻まれている。



FUKUYAMA

いろは丸事件の際、紀州藩が宿舎とした寺

P 駐車場 W 公衆トイレ H ホテル

走島へ

シーボルトが寄港

江戸時代、オランダ商館長の江戸参府に同行したドイツ人医師シーボルトが鞆港に立ち寄ったことを記した貴重な史料が発見され、歴史ファンの注目を集めている。



長崎歴史文化博物館蔵

ちよと column

下関市立長府博物館管理

えと column  
民俗伝

歴史を物語る行事

まち全体で「ひな祭」

鞆・町並ひな祭では代々伝わっているひな飾りを各家々の軒先などで公開。江戸・明治時代の貴重なおひなさまに会える。(2月〜3月)



お弓神事

年頭にあたり、過ぎた1年の悪鬼を射払って新しい年の平穏を祈る古式豊かな行事。沼名前神社境内で行われる。



お手火まつり

鞆の浦に古来より伝わる伝統行事。150キログラムの大松明三体を担ぎ上げ、沼名前神社の石段を上る、勇壮な火の祭典。



● ちよと





## たい焼き



あなたの街のたい焼きも福山生まれ!?  
戦後間もないころ、光陽機械製作所の創業者が、一度に何個も焼けるたい焼き機を考案。『およげ! たいやきくん』が流行したころには、全国の8割のシェアを誇っていたとか。「アイデアマンの祖父が、鞆の鯛にヒントを得たのかもしれない」と原田社長。



思わず、えとと  
鯛たべたい!  
と思わせる  
絶品をご紹介。

## 鯛そうめん

温かい「つゆ」でいただく。

祝い事には、一匹をまるごと使った鯛そうめんが欠かせない。鞆の浦の飲食店では、お頭が乗った鯛そうめんが味わえる。



## 鯛めし

鯛のうまみと香りがたまらない。

漁師たちが船上で食べていたという鯛めし。鞆の浦のあちこちの飲食店で食べられる。



## 鯛物語

漁師に聞いた

鞆の浦の鯛はおいしいよ!

interview

鯛網船団長 深田 義人さん(右)  
鯛網船団員 羽田 昭宏さん(左)



漁師のオススメ!!

「昔は春になったら、鯛が産卵のために鞆の浦へえとと来よつたんよ」と、笑顔で語る深田鯛網船団長。仙酔島での乙姫の舞や、弁天島の「弁財天」への大漁祈願後、6隻の船団が勇ましい掛け声とともに、伝統の漁法「しぼり網」で鯛を追い込む「鞆の浦観光鯛網」は、初夏の風物詩。鯛や小魚が入った網が引き上げられたら、観客は観覧船から親船に乗り込むことができる。「魚を触つたことがない子どもさんも喜ぶんですよ」と船団員の羽田さん。「鯛以外にも、鞆の浦では昔から子持ちのシヤコが人気。春はセイゴ、夏はエビ、秋のワタリガニ、サヨリもおいしいけえ、食べてみよ」と教えてくれた。

タイ漁☆  
大漁☆



平成いろは丸でいく

## 仙酔島

「せんすいじま」

鞆の浦から仙酔島まで平成いろは丸に乗って、約5分で到着。日本で最初の国立公園「瀬戸内海国立公園」を代表する景勝地。遊歩道を歩くのもよし、キャンプを楽しむのもよし。自然の中でゆったりとした時間を過ごせる。



### 鞆の浦観光鯛網

約370年前から伝わる伝統漁法で鯛を追い込む。仙酔島から出発する観覧船に乗って勇壮な海上絵巻を間近で堪能することができる。



### ①国民宿舎仙酔島

砂浜に面し、おだやかな瀬戸内の海と仙酔島の自然を味わえる宿。



### ②塩工房・塩づくり体験

満潮時にくみ上げた海水を使って「日本の塩百選」に選ばれている塩づくりを行う塩工房では、見学も、体験も可。